

ぼれぼれ 通信



地球儀を

俯瞰する外交

7・8月号
vol.41

安倍内閣が掲げる政策には、アベノミクス、地方創生、女性活躍など大きな柱がいくつかあるが、外交においては、日本が有する自由、民主主義、法の支配、人権などの基本的価値を各国と共有し、それらの価値を基盤に、世界の平和と繁栄の実現に向けて、地球儀を俯瞰する外交を開拓している。

その言葉を文字通り体現するかのように安倍総理が世界中を訪問し外交を開拓中であるのは、多くの報道により読者の皆様もご承知のことだと思う。一方、内閣の一員である山本も総理には及ばないが世界中を飛び回っている。昨年以来、約10カ月で訪問国は計8カ



地球二周半を超えた移動距離

内閣の方針とは言え、仮に20年前に同じような方針があつたとして、防衛政務三役が、今のように多くの外国を訪問したか、と言われば疑問符が付くであろう。一昔前は、唯一の同盟国であるアメリカに出現するぐらいしか具体的な政務の案件もなかつたようと思われる。しかし、今や国連平和維持活動(PKO)におい

ト(タイ、ジブチ共和国、エジプト、カナダ、アメリカ、ドイツ、スウェーデン、ブラジル)および総移動距離は、実に地球3周半に到達している。特にエジプトは防衛政務三役(大臣、副大臣、大臣政務官)では、最初の訪問であり、ブラジルも防衛の認証官(大臣、副大臣)が訪問するのは初であり、両国ともに歓待を受け防衛協力の推進の一助になった。

内閣の方針とは言え、仮に20年前に同じような方針があつたとして、防衛政務三役が、今のように多くの外国を訪問したか、と言われば疑問符が付くであろう。一昔前は、唯一の同盟国であるアメリカに出現するぐらいしか具体的な政務の案件もなかつたようと思われる。しかし、今や国連平和維持活動(PKO)におい

代表されるように世界平和への貢献も防衛省・自衛隊に求められている。世界各国の防衛当局間での交流や交渉も確実に増えてきているのだ。

世界平和・貢献でも女性が活躍する時代

例えば、国連の「アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト（ARDEC）」は、日本が主導して3年前に開始した国連初の取り組みで、自衛隊員を派遣してアフリカ諸国の工兵にブルドーザーなどの施設器材の操作方法を教育しPKOへの施設部隊の早期展開を支援するプロジェクトである。今年は、初めてARDECで女性隊員も現地に派遣されたが、これは、昨年11月に山本が力ナダで開催された「PKOに関する国防大臣会合」に

出席し、パネルディスカッションの中で表明した女性活躍推進の方針を受けて実現したものである。まさに地球儀を俯瞰する外交を展開しつつ女性活躍の政策を具現化した事例である。

防衛政策にも外交が重要になつた

また1999年にロシアとの署名に始まつた二国間における安全保障・防衛に関する共同文書である「防衛協力・交流覚書」の署名を行つた。同年、アラブ首長国連邦（UAE）の国防大臣が来日をされ、山本と共に覚書への署名を行つた。今回、山本は防衛副大臣として初めて覚書に署名した。従来は大臣が署名を行つていたが、政務三役で手分けをして署名することにより今まで以上に柔軟かつスピード感を持つて防衛外交を展開している。

更に、武器輸出三原則から新たな防衛装備移転三原則に政策転換したことにより、防衛

いが、二国間での新たな関係を構築する・今までの関係を再確認する・重要な分野を確認するなど多様な目的を達成できる。本年5月に山本が防衛副大臣として初めて訪問したブラジルでは、国防大臣との会談の中で「防衛協力・交流覚書」の早期署名に合意した。加えて、同月、アラブ首長国連邦（UAE）の国防大臣が来日をされ、山本と共に覚書への署名を行つた。今回、山本は防衛副大臣として初めて覚書に署名した。従来は大臣が署名を行つていたが、政務三役で手分けをして署名することにより今まで以上に柔軟かつスピード感を持つて防衛外交を展開している。

の覚書は、一国間の防衛協力・交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。覚書には、条約のような義務は含まれないが、二国間での新たな関係を構築する・今までの関係を再確認する・重要な分野を確認するなど多様な目的を達成できる。本年5月に山本が防衛副大臣として初めて訪問したブラジルでは、国防大臣との会談の中で「防衛協力・交流覚書」の早期署名に合意した。加えて、同月、アラブ首長国連邦（UAE）の国防大臣が来日をされ、山本と共に覚書への署名を行つた。今回、山本は防衛副大臣として初めて覚書に署名した。従来は大臣が署名を行つていたが、政務三役で手分けをして署名することにより今まで以上に柔軟かつスピード感を持つて防衛外交を展開している。

省による外交的役割の比重が大きくなっている。旧三原則では、①共産圏諸国向け、②国連安保理決議により武器等の輸出が禁止されている国向け、③紛争当事国向け、これらの場合には輸出を認めない、としていた。新三原則では、①移転禁止の場合を明確化し、条約などの義務に違反する・国連安保理決議に違反する・紛争当事国向け、これらの場合は禁止、②移転する場合も、平和貢献や国際協力に資する、我が国の安全保障に資する、これらの場合に限定し、透明性を確保し厳格審査を行い移転、③目的外使用及び第三国



▲海外出張経路図

移転について適正管理が確保される場合に限定して移転できる、とにより装備品の移転や技術の移転や他国と行う場合に、二国間で「防衛装備品・技術移転協定」を締結することとなつた。現在は、9カ国と締結を行つてゐる。例えば、同協定に基づき、フィリピンからは、フィリピン海軍が現有航空機を約40年運用しており、老朽化更新として、海上自衛隊の練習機TC-90の移

転を要望してきた。昨年、2機を引き渡し、本年、3機を輸送及び海洋状況把握における能力向上、ひいては、我が国との安全保障・防衛協力の強化に資すると判断したからである。現在、その練習機は、同国の海上において警戒監視活動を行つてゐる。山本も諸外国を訪問した際には、同協定の締結に関心を示している。具体的にどこの国においては、積極的な外交活動を行つてゐる。将来に日本の目を見ることになるだろう。読者の皆様は期待して待つていただきたい。



ベンベン特別秘書官の603運動紹介!

今回お伺いしたサークルは川端まい子フラスタジオ
「Halau Hula 'O Ku'u Pua Hone」



第5回は、活動開始から26年目を迎える、川端まい子フラスタジオ「Halau Hula 'O Ku'u Pua Hone (ハーラウ・フラ・オ・クウ・プア・ホネ)」を紹介するぞ。「フラ」はハワイ語で「踊り」を意味するそうだが、文字を持っていなかった古代ハワイの人たちが、神話や伝説を伝承する手段として踊っていたとも言われる。だからその踊りは、雨や風、山など自然を表現するんだ。現在活動は、毎週土曜日 10:00~11:30、主に自由民主4区会館3F会議室で行っているが、他にも教室は鎌倉市内に2か所あ

る。自然への敬意を踊りで表現してみたい人、踊りが好きな人であれば、老若男女問わず誰でも参加可能だ。フラはゆっくりとした有酸素運動で、体幹の筋肉を使う踊りだから、インナーマッスルを鍛えるのにも最高の運動なんだ。鎌倉には海もあるし山もある。表現に行き詰ったら、自然と向き合う事もすぐに出来るぞ。ここは他の教室よりも新しいフラの曲を取り入れているのが特徴だ。心地よい音楽の中で、皆で仲良く心も体も健康になろう!



【写真】川端まい子先生と生徒の皆様

■詳細問合せ先:川端まい子フラスタジオ Tel・Fax 0466-88-2626



駅で「ぼれぼれ通信」をお配りしております 駅頭活動報告

「おっ!副大臣。握手して」
 「いよいよテレビで見る人になったね」
 「忙しそうだね。本当に体力勝負だね」
 「私、自衛官です」「毎号、読んでますよ!」
 などなど沢山の方々に声を掛けて頂きました。
 その一言一言が励みになります!
 皆様、誠に有難うございます。

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

*雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぼれぼれ通信」配布数

5月・6月集計分

駅名	5月	枚数	6月	枚数	前月比
逗子駅	17日(木)	391	1日(金)	203	↓
新逗子駅	18日(金)	393	4日(月)	231	↓
鎌倉駅(東口)	21日(月)	229	19日(火)	233	→
鎌倉駅(西口)	10日(木)	287	5日(火)	435	↑
大船駅(西口)	11日(金)	408	7日(木)	569	↑
大船駅(モノレール口)	14日(月)	500	8日(金)	582	↑
大船駅(東口)	15日(火)	404	25日(月)	379	→
大船駅(笠間口)	16日(水)	464	12日(火)	454	→
本郷台駅	22日(火)	526	13日(水)	515	→
港南台駅	23日(水)	263	14日(木)	137	↓
	5月配布合計	3,865	6月配布合計	3,738	→

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook.

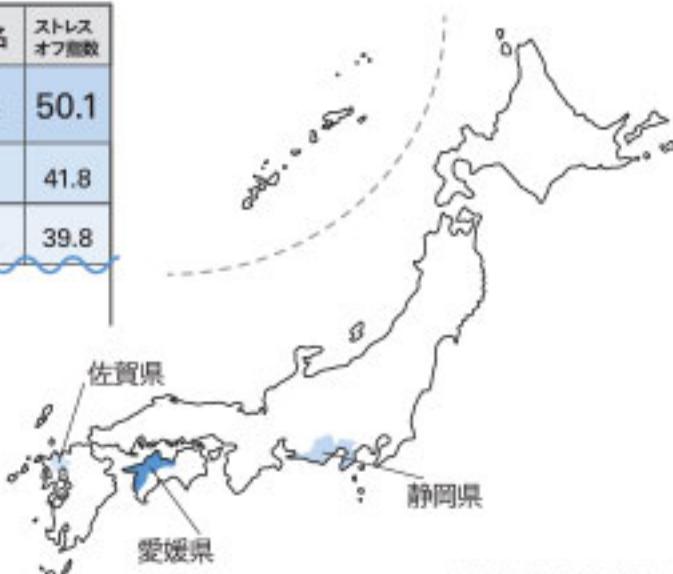
facebook.com/ty.polepole

愛媛県に学ぶストレスオフポイントとは

山本らが進める「ストレスオフ政策研究会」などの連携により実施・発表されたストレスオフ県ランキング2018。今回は第1位に輝いた愛媛県について考察したい。

ストレスオフ県ランキング2018

順位	都道府県名	ストレス オフ指数
1位	愛媛県	50.1
2位	静岡県	41.8
3位	佐賀県	39.8
⋮		



※メディプラス研究所調べ。

第1位は2連覇の快挙となる愛媛県。第2位の静岡県、第3位の佐賀県と10ポイント近く差をつけて第1位に輝いた。東邦大学名誉教授・有田秀穂氏によると、愛媛県のストレスオフな点として、温暖な地域性に加え、サイクリングをはじめとする愛媛特有の運動習慣、またガーデニングなどアウトドアの趣味が盛んで「太陽光」を浴びる環境があること、デジタルストレスの大きな要因のひとつである「ブルー

ライト」を避ける傾向がみられるうことなどがあげられるそう。これらの「光」意識の高さは、ストレスオフに重要なセロトニン活性に大きく関わりがあるそうだ。

丘陵や谷が多い神奈川4区において、地形によつては日照時間が極めて少ない地域があることは確か。積極的に「光」に注意を向けることで、ここ地元でもストレスオフへのアプローチの一つになるかもしない。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選

自由民主党 衆議院議員(4期 9年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)
昭和50年(1975年)生まれ
43歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!



国会・防衛省見学案内実施中!!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。

ばれぼれ通信って何?



「ばれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成30年(2018年)7月2日発行 第41号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ばれぼれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943
※本誌は、毎月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。